

空調機自動制御装置 (ENE-LINK)

Profile (KP1404/Nov.2014)

時間制御プログラムによる室温管理が実現した大幅な電気代削減
コンプレッサーの稼働状況を計測し、室内環境を変えずに消費電力の削減を実現！



導入効果

圧縮機44KW×2台に設置

削減効果
約64万
※年間

費用対効果
約8.3月

プレミアリゾート夕雅 伊勢志摩のヒートポンプチラーユニット (圧縮機44kw×2台)に空調機自動制御装置をご導入いただきました。夏場は全館で空調機が稼働し、チラーの稼働によりデマンドピークとなりましたが、チラー制御によりピークカットが可能となります。

本装置では、宿泊・ホテルスタッフの快適な環境を担保し、室温を一定以上、下げないように時間制御プログラムを行っており、使用量削減を実現しました。

制御率: 16.6% (30分間で約5分停止) に設定しております。制御率のプログラム変更可能です。

POINT
1

時間制御プログラムで室温環境を変えずに電気を削減

POINT
2

デマンドピークカットと使用量削減のW効果

POINT
3

空調機ごとに設置出来るため、施工費用の大幅な負担減を実現



株式会社K PLANNING

エネルギー削減パートナー

当社のコスト削減提案は、お客様に費用対効果とその根拠を提示することから始まります。お客様の現状を分析し、様々な選択肢の中から最も費用対効果の高い取り組みを提案いたします。

会社名、製品名などは、各社または各団体の商標もしくは登録商標です。事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものであり、配布される時点では変更されている可能性があることをご了承下さい。この記事は2014年9月に作成されました。

Copyright 2014 K PLANNING ALL Rights Reserved.